



会からのお知らせ

○ 11月 定例役員会

日時：平成22年11月6日(土) 13:00～16:00
場所：**ふるさと歴史館・研修室**

17時より「丸藤」で11月・12月生まれの方のお誕生会を行います。
該当者の皆さんはもとより、一緒にわいわいやって頂ける会員の皆さん、気軽にご参加ください。お待ちしております。

○ 11月度・12月度合同お誕生会（担当幹事 南湖 390-2287）

日時：11月6日(土) 17:00～19:00
場所：割烹「丸藤」 久米川駅南口から徒歩1分
電話 042-395-5646
会費：3,000円

該当の方々ぜひご参加ください。お待ち申し上げております。（特に12月誕生月の方はこの11月6日実施の11月度・12月度合同お誕生会が該当しますので、お間違えのないようご注意ください。）

なお、誕生月ではないが誕生月の方と一緒に祝いしてくださる方のご参加も歓迎いたします。ご希望の方は担当幹事までご連絡ください。また、誕生月該当者で、下記されていない方は担当幹事までご連絡ください。

☆ 11月度お誕生の方々（敬称略12名）

栗島三郎、青柳真一、石川 武、小亀輝雄、小亀信雄、斉藤充美、佐藤守彦、中尾榮一、野村保夫、松坂伊智雄、高橋壽佳、大原 康

☆ 12月度お誕生の方々（敬称略12名）

一色泰久、井手 巖、江藤昌明、石塚征雄、川合幸雄、工藤崇士、當摩彰子、藤沢博恭、藤巻 浩、益田 昂、吉村 正、小森敏孝

○ 第70回雑学講座

日時：平成22年12月4日(土) 15:00～17:30
場所：サンパルネ コンベンションホール（東村山駅西口駅ビル2F）
演目：映画 「若草物語」

昭和24年に制作され、アカデミー賞2部門受賞の名作。
アメリカ北東部の町コンコード、南北戦争に出兵した父を待つ、母と4姉妹の物語。
戦争の中にあっても、逞しく素直に生きる家族の暖かさに胸を打たれます。
若き日のエリザベス・テラーが何と美しいことか！

平成11年1月9日に第1回を開催した雑学講座も回を重ね、今回が第70回になります。「開かれた稲門会」を目標に、最近の雑学講座には多くの市民の方にも参加いただいております。今回初めて映画鑑賞会を企画しました。会員の皆様、是非不朽の名作「若草物語」をご覧いただきたく、ご家族揃ってサンパルネ コンベンションホールにお出でください。

○ 名簿の住所変更

藤田洋司さん	新住所	久米川町3-25-20
	旧住所	本町1-23-2

○ 退 会

奥山康治さん 諏訪町3-4-38 ご逝去のため
村山政利さん 転居のため
森田光夫さん 新住所 埼玉県富士見市ふじみ野東4-14-5
練馬稲門会に入会のため

○ 校友会関係会合

2010年10月17日(日) 早稲田大学校友会設立125周年記念式典
小亀会長・風間事務局長出席

○ 全国幹事長・事務局長会及び代議員会の報告

2010年9月17日(金) 大隈小講堂で開催された。2010年稲門祭の件、組織強化補助費の改訂、大隈重信侯の1000円銀貨・500円貨幣の発行、125周年記念ビールの販売等が発表されました。また在学生と支部稲門会の交流事例として東京狛江、京都稲門会から報告がありました。(風間出席)

続いて大隈大講堂で秋季代議員会が行われ、2009年度の校友会決算承認2010年予算案修正の件などが協議され承認されました。また、報告事項として校友会設立125周年事業の件、2010年稲門祭の件等について説明がありました。

(出席者風間、當摩、高鷲)

(風間記)

○ 白井総長を囲む稲門ハワイの集い

白井総長が11月初旬に退任されるため、白井総長を囲んでのパーティーが9月11日(現地時間)ハワイのロイヤルハワイアンホテルの中庭で行われた。約120名程が参加し、和やかな楽しい会であった。ナレオハワイアンズOBやハワイ稲門会の皆さんの演奏に合わせて、白井総長も得意の喉を披露された。最後は応援部のリードで暮れなずむワイキキの海に向かって「都の西北」の大合唱でお開きとなった。当稲門会から山下元会長ご夫妻、小亀夫婦が参加しました。(小亀記)

2010年10月17日(日) は是非早稲田の杜へ！！

今年の稲門祭は校友会設立125周年を記念して、お孫さん連れでも楽しんで頂けるよう、キッズ企画をはじめ例年にはない様々なスペシャルイベントを企画しました。10月17日には是非早稲田の杜へお出かけ下さい。大隈庭園内には三多摩支部のコーナーもあります。

主な企画

・稲門パネルトーク「ともに世界へ ともに未来へ」

田原総一郎氏、見城美枝子氏、高野孟氏、辻元清美氏

・校友音楽祭

岡村喬生氏、タモリ氏、ボニージャックス、外山喜雄とデキシシーセインツ、浅井慎平氏
小室哲哉氏

・早稲田スポーツを語る

河野洋平氏、奥島孝康氏、中竹竜二氏

○ 稲門祭記念品 当日会場でも購入できます。

「稲門奨学金」に応募殺到！

稲門祭記念品の収益は全額、「稲門祭奨学金」になります。2009年度の実績に基づき33名の奨学生を募集したところ、定員の25倍に当たる850名もの応募がありました。三田会に負けないよう、現役学生の支援に是非ご協力ください。

○ 早稲田四代 16組

校友会設立125周年事業の一環として、4代にわたり、早稲田大学に在学、卒業された卒業生校友を「早稲田四代」として表彰することになり、2010年5月末までに応募を受け付け、選考委員会の議を経て、16組を決定した。

割と少ないという感じを受けましたが、卒業生の子弟でも早稲田に入るのは難しいのか？

○ 初代図書館長、市島謙吉（号・春城）の胸像建立

早稲田大学図書館の初代館長であり、自らの目と足で資料の収集に奔走し、現在507万冊の蔵書を持つ図書館の礎を築いた市島春城生誕百五十周年にあたり、中央図書館ロビーに「春城市島謙吉像」が三月に建立されました。

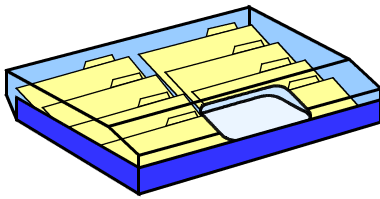
東村山稲門会総会・三多摩支部大会の出欠葉書をまだ投函していない方は至急ご投函下さい。



☆新米のご案内について☆

柏崎稲門会からのご紹介で、新潟山波農場の新米の案内が来ました。

例 ミネラル栽培 コシヒカリ 10kg 4500円 等購入希望の方にはパンフレット・申し込み用紙（FAX）等を差し上げますので、事務局風間（394-5279）までご連絡ください。



政治家の名刺

山下 邦康 （S36教育）

政治家は人に会うのも商売のうち、名刺の使い方も半端ではあるまい。まして選挙間近かともなれば我々素人には予想もつかない枚数を日々バラまいて歩くはずだ。ある若手の代議士の話では通常でも毎月三箱はなくなる、選挙ともなれば十、二十箱ではきかないと嘆いていた。

一方、私も人並に名刺を作りはするがメックに人に渡さない捻くれた性癖がある。一度刷ると一年はもつ。関係する仕事ごとに2、3種作るので二～三年経っても在庫豊富なものもある始末だ。「名刺コレクション」には関心も興味もない。

初めて会う政治家さんは、よほどの大物でないかぎり向こうから名刺をくれる。その名刺、デザインもレイアウトもさまざま。カラフルなもの、顔写真入り、政治信条入りとバラエティに富んでいる。陣笠の間は色々と工夫を凝らし名刺を通して有権者に訴える姿勢が見て取れるが、いったん大臣、副大臣様になると名刺の様相がガラリと変わる。まず名刺の表は太い字で名前と右上に何々大臣と肩書きがあるだけ、裏面に議員事務所が申し訳程度に記入されている。裏面は真白いものもある。まるで陳情などに来られてはマッピラ御免と云わんばかりの大物ぶりだ。

でも大物政治家ともなれば周囲が放っておかない。中には名刺をおねだりして喜ぶ御仁も少なくないから、渡すときも鷹揚でもったいぶった仕草をしてみせる。十年ほど前の話だが、日比谷のプレスセンターで三十名程の小さな会合があった。毎年開催のメディア関係の会合でその時々の総理も儀礼的に出てくる。私は初めてでもあり多少遠慮がちに控えていた。至近距離には総理が取り巻き連中に囲まれての談笑中だ。時々総理と目が合ったが、特別に興味も関心もしめさなかった。時の総理大臣様だ、皆さんから関心を持たれ挨拶を受けるものと思うのが当然だろう。しかも会場は僅か三十人少々しかいないのだ。

その中に一人でも無関心を装う人がいれば落ち着かない、気にもなる。やがて向こうからさり気なく近づいてきて「初めてですかナ」と話かけてきた。その時はさすがの私もあわてて懐に手を入れ名刺を差し出したものだ。後にも先にも総理大臣の名刺を貰ったのはこの時だけだ。政治に関係なく陳情の経験もない私のデスクにはどういう訳か国会議員の名刺がいつも二十枚ほど入っている。二、三年に一度は溜まりにたまった名刺の整理を始める。政治家に限らずおつき合いをしていると名刺はスグ溜まる。落選して充電中の人、退職して縁が切れた人、かつて親しかった知人・友人など名刺が語りかける無言の悲喜コモゴモに思いをはせてソット、ゴミ箱に入れる。さて在庫豊富な私自身の名刺の方はどうしたものか、バーのマダムに配って歩くか。ヤッパリ捨てよう！

9月・10月度合同「お誕生会」報告

HAPPY
BIRTHDAY

担当幹事：南湖修一 390-2287

9月・10月度合同のお誕生会は月初めの9月4日（土）午後5時すぎから久米川の割烹「丸藤」で開始された。折からの厳しい残暑の中にもかかわらず、誕生月該当者25名のうち8名の方々の他役員などで総勢23名が集った。中秋の名月、十三夜や誕生石などの話題が詰まった歳時記を配布しての小亀会長のお祝いの言葉のあと、該当参加者の出身学部、卒業年度の紹介を交えた風間副会長の挨拶と乾杯の音頭によって会は始まった。本日も、當摩彰子副会長からはおいしい山形の地酒の差し入れを頂戴した。しばらく歓談後、会長からバースデープレゼントが手渡され、誕生日を迎えられる8名の方々から順次スピーチを頂いた。

西武三賢人の真ん中だという青山 稔さんからは10時就寝、5時起床という規則正しい生活が功を奏して至極健康であるとのことをご報告を頂いた。新役員となられる69歳池田孝さんは国家戦略室で農業問題を提言、研究しているとのこと。次に立たれて出田邦博さんは俳句同好会などで楽しんでおられるとのことであった。いつも若々しい滝来京子さんは本日日本語ボランティアに参加されたとのこと、新役員としてのご活躍も期待いたします。いつもご夫婦仲が良くて羨ましい滝来洋二さんからは奥様との馴れ初めの原点である大学のサークル“東京文化の会”についてご紹介があった。月森通夫さんは昭和44年に調布から東村山に来て以来、当所をこよなく愛しておられるとのこと。ふくろう通信でおなじみ1944年生れの戸田志郎さんは“冷戦後のトリプルダウン”について語られた。丸本聡明さんは娘さんに「稲門会の時はうれしそう」と言われながら囲碁同好会等でご活躍のご様子でした。例によって赤荻さんによる記念撮影も順調にすすみ、久し振りに井垣さんの音頭で、全員で「東村山稲門会の歌」、「早稲田大学校歌」を斉唱し、當間副会長のメの挨拶のあと会はお開きとなった。

同好会だより

当会会員の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

ゴルフ同好会

世話人 井垣和太 TEL 04-2924-2934



第28回東村山稲門会秋季ゴルフコンペが開催されました。

第28回秋季ゴルフコンペが、9月24日（金）に、当会のホームコース西武園ゴルフ場で開催されました。

当会のジンクス、「前日またはスタート前に雨が降ってもスタートの時には止んでいる」が今回もドンピシャリ。秋彼岸までの記録的猛暑が信じられない10度C以上も低い寒いくらいのコンディションの中、17名（5組）のプレーヤーが午前7時38分から、楽しくゴルフに挑戦しました。

参加者のうちレディスは、③初参加の吉田誠子（勝氏夫人）、と月森章子（通夫氏夫人）、森田果子（故茂氏夫人）の3人、男子は、①内藤慎、堀田秀夫、戸田志郎、高部素行、①相馬信一、益田昂、石川武、青山稔、③吉本正典、津野慶浩、吉田勝、④関一誠、井垣研太（和太家族）、井垣和太、の面々（組み合わせ、番号はスタート順）。

新ペリア方式のルールで技を競った結果、ハンデに恵まれた井垣和太が優勝。準優勝は津野慶浩、三位には初参加の吉田誠子夫人が見事に入賞。ベストグロス（最小打数）には実力どおり堀田秀夫が獲得。次回優勝者と組んで当日幹事を務めるブービー賞には、8年ぶり参加の戸田志郎が最多ハンデも効なく当たり。

それやこれやで、皆さん何かの賞にありついて（何にもない人もいましたかな。）楽しい28回目のメインコンペは、午後3時過ぎにお開きとなりました。

（井垣記）

園芸の会

世話人 當 摩 照 夫・彰 子 TEL 396-3033



8月18日(水)にサギ草の開花株を持ち寄り恒例の品評会を行いました。総勢12人のメンバーが集まりました。今年の夏の暑さは異常中の異常。連日35度を超える猛暑の中、か弱きサギ草は試練に耐えきれず、つぼみが上がって来ない、出てきてもうまく咲かない等問題続出で、さすがの藤澤リーダもお上げの様子でした。

そんな中でも咲かせる人は咲かせるわけで、今回は高部さんが健闘され、見事1位を獲得しました。続いて長井さん、土橋さんの順でした。皆さんの話を総合すると、植物の生長にももちろん日照は欠かせないのですが、でも猛暑の中では程度が大事。

少し、遮光も必要のようです。勉強になります。

さて、次回は11月9日(火)午後3時より、いつものスポーツセンター、スポーツクラブ室で、秋の草花苗交換会を行います。皆様ふるってご参加下さい。

テニス同好会

世話人 田 島 隆 夫 TEL 396-7676



9月の例会は、9月18日(土)、運動公園Bコートで行われました。さしもの猛暑も峠を越し、日差しは強いものの、ベンチには涼風が吹き、絶好のテニス日和でした。

参加者は、市川(彰)夫人、江藤夫人、小菅、滝来(京)の各氏と田島の5名でした。江藤さんと小菅さんは、久しぶりの参加でしたが、日頃、軟式テニスで鍛えているので、随所に素晴らしいプレーを見せてくれました。

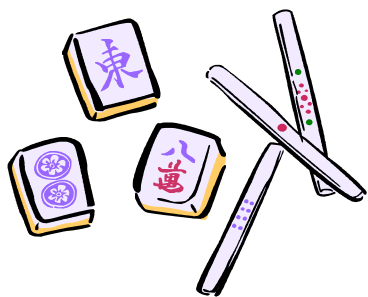
果物などの差入れもいただきながら楽しいひと時を過ごしました。

今後の予定

10月16日(土) 9時~11時 久米川コート 3
(予備日 10月23日(土) 9時~11時 久米川コート 3)
11月 6日(土) 9時~11時 運動公園 C
(予備日 11月20日(土) 9時~11時 運動公園 C)

麻雀同好会

世話人 小 野 智 TEL 391-9523
松 永 常 尚 332-5621



第51回大会を去る9月19日(日)麻雀「天狗」にて12名(3卓)にて開催しました。本来なら6月27日(日)マージャンMにての予定でしたが、店主のアクシデントに因り中止延期となり、6ヶ月振りの大会となりました。

初めての会場でしたが、スムーズな進行で終わり、会員の皆様には一応ご満足頂けたと、世話人としては安堵致しました。(但し武運拙く敗れた人の心情は別か?)

成績結果は第50回に続いて小亀会長が勝ち点90にて連勝を果たしました。優勝者の挨拶で優勝の秘訣は相手の雀風と性格を見透かしながら、持ち時間を自分に有利にゲーム進行を運ぶ事であると奥の手を披露しました。準優勝は鈴木氏。声の大きさと独特のお惚けに相手が惑わされたと思います。

当日の参加者は、阿部、小野、佐野、田口、當間、内藤、中川、番場、松永、三宅の各氏でした。次回は12月19日(日)に予定しています。

追記：元同好会員柴田元氏の闘病と回復を念じて、当日参加者全員が寸志の見舞金を贈りました。(松永記)

カラオケ同好会

世話人 内藤 慎 TEL 393-5071



9月例会を9月4日開催。参加は井垣、井手、滝川夫妻、高鷲、内藤の各氏6名と少な目ではありましたが、この暑さを吹き飛ばす元気で歌いまくり楽しい一夜を過ごしました。

暑いからと閉じこもるもみではなく、許す限り活動も必要では無いかと思います。どうぞご参加下さい。

今後の予定

11月6日 (土) 17:10より カラオケランド ズー

12月4日 (土) 17:10より カラオケランド ズー

忘年大会になります。

音楽同好会 (稲穂会) 世話人 高橋文子 TEL 393-2676



9月12日(日)午後2時より恩多ふれあいセンターにて例会を開きました。まだ残暑厳しい日だったためか、出席者は10人でしたが、12曲を歌い、どの曲も2番以降の歌詞のあてはめ方に気を配り、時間をかけて練習してみました。

次回は、10月31日(日)午前10時30分から正午まで、恩多ふれあいセンターにて例会を開きます。会場の都合により午前の開催となりますので、ご留意の上、お運びください。

参加者(敬称略);市川(彰)、井手、江藤、木谷夫妻、滝川夫妻、富塚、高橋夫妻

歌った曲;稲門会の歌、虫のこえ、夕日、小さい秋見つけた、宵待草、カチューシャの唄、ゴンドラの唄、ここに幸あり、旅人よ、誰もいない海、若者たち、故郷の人々

ウォーキングの会

世話人 高橋正夫 TEL 309-3407
土橋雄次 393-5708

第21回ウォーキング記 (9月24日)

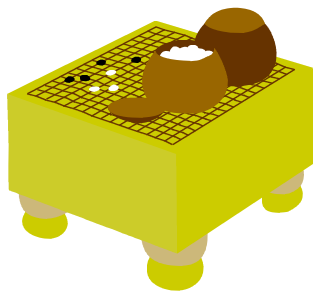
前日の予報で終日雨とのことだったので、お問い合わせには中止予定と回答してしまいましたが、雨にはならず曇りとなりましたが、結局参加者2人という寂しい会となってしまいました。訪れた旧岩崎邸は案内人の懇切丁寧なガイドがあり、華美ではないこの建物の贅を尽くされたその価値を知ることができました。

まだ訪れていない方にはぜひお勧めしたいので、次回このコースを再度企画したいとおもいます。詳細は11月号のニュースでお知らせいたします。

参加者:額田氏、高橋

(高橋 記)

囲碁同好会

世話人 福田 晃 TEL 394-0593
高鷲 近 394-2336

●「第21回囲碁大会」を、下記の要領で開催します。

年2回の大会です。皆様のご参加をお待ちしております。
日 時 … 平成22年10月16日(土)、午後12時半開始

場 所 … 市民センター別館 第3会議室

会 費 … 賞品代500円(当日ご持参ください。)

○上記の大会は、いつもより早く開始しますので、ご注意ください。

場所も「第3会議室」ですので、ご注意ください。

世話人がお電話でご参加の有無を確認させていただきますので、その節はよろしくお願い申し上げます。

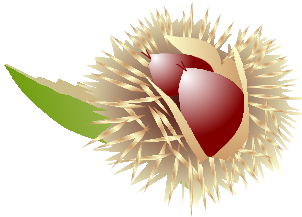
俳句同好会（稲酔会）

世話人 井垣和太

TEL

04-2924-2934

第52回「稲酔」俳句会を下記の通り開催いたします。



記
 開催日時 : 10月23日(土) 午後1時開始
 会場 : 恩多ふれあいセンター 第一集会室
 兼題 : 「虫」一切
 出句 : 兼題句含め当季雑詠計5句
 投句参加も歓迎いたします。前日までに
 世話人宛。

《兼題「虫」一切》(蟋蟀、鈴虫、松虫、蜻蛉、秋の蝶、秋の蚊、秋の蠅、・・・)
 暑い暑いと言っていたのに、秋の彼岸を境に俚言どおりに涼しい季節になりました。あれほど樹林を震わせていた蟬時雨もおさまり、道端や庭の草間から、いろいろな虫の音が聞こえてきます。それぞれの虫の秋の季節ならではの様子を詠んで、あなたの感動を表して下さい。

水の如き酒もうましや虫そゞろ
 読むもののなくて虫聞く夜なりけり
 添え竹のそれぞれに蜻蛉暮れにけり

舟月
 北星
 高雀

(稲雀 記)



我が禁煙実践記

高鷲 近(S35文)

禁煙を決意したのは、今年の6月末である。「何で、今さら」といわれるかも知れないが、喫煙歴52年の私にとっては重大なことであった。その主なわけは次の三つ。

一つは、我が家の座敷でたばこを手にテレビを見ていたとき、畳に大きな焦げ跡を三つもつくってしまったことである。畳の縁は、いかに燃えやすいか。女房のキンキン声が、いまだに耳に残っている。

二つめは、たばこが10月より、過去最大値上げされることである。たばこには、現在も「国たばこ税」「地方たばこ税」「たばこ特別税」「消費税」の4種類の税がかけられており、定価の60%強が税金という代物である。東村山市では、平成20年度のたばこ税は6.4億円であったという。貴重な財源となっている。そして市のホームページでは、『たばこは、市内で買いましょう』などと、のほほんと呼びかけている。

日本のたばこは、外国に比べると、まだ安いのだという。たばこ1箱の平均価格は、イギリス800円、アメリカ539円という。今後も値上げ必至である。

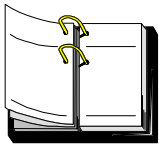
三つめは、そのころ、少しおかしい咳をしていたことである。これまでは、「たばこがそんなに悪いものなら、52年間毎日吸っている俺が達者で過ごせているのは、どういうことだ」と強がりを言ってきたのに、やはり年のせいなのだろうか。

私の選んだ禁煙法は、『たばこを吸いながらやめられる』という、誠にずぼらなやり方である。これは、突然たばこを断つのではなく、「離(り)煙(えん)パイプ(全31種類)」というものを使って、吸いながらニコチンを徐々に減らしていく方法である。31本めのパイプを使うときには、ニコチンの量はほとんど0に近い数値になっているというしかけである。この『離煙パイプ』一式で13,230円。使い始めてから1週間もすると、たばこがおいしくなくなった。そして半月もすると、まずくなってきた。「何でこんなものを吸っているのだろう」という感じである。

そのうち、吸う間隔が広くなり、気がついたら半日に1本も吸っていないという日もあるようになった。「これでやめられる」ことを実感した。8月16日のことであった。

それからは1本も吸っていない。まさに禁煙に成功したのである！

ただし、このひと月で、体重が1.5kg増えてしまった。新たな課題をかかえることになった。



今月の行事（10月）

- 9日（土）10月度役員会
キャンパスツアー
16日（土）テニス同好会
囲碁同好会
23日（土）俳句同好会
31日（日）音楽同好会

11月の予定

- 6日（土）11月度役員会
11・12月度お誕生会
カラオケ同好会
9日（火）園芸の会
21日（日）東村山稲門会総会



編集局だより

○会員の皆様へお願い

東村山稲門会も15回目の総会を迎えることになりました。この間多くの方々のご努力で、同好会や諸行事などが活発に行われてきました。特に毎月発行しているこのニュースは会員相互の「絆」として大きな役割を果たしてきました。しかし、このニュースの発行は長い間、特定の方の負担によって発行されているのが現状です。編集（割り付け等）・印刷は毎月の事ですので大変です。2年くらいで次の人にバトンタッチしていかないと組織としてもいきずまってしまいます。印刷は、印刷機は会で購入してありますので、自宅です。どなたか引き継いで頂ける方がいませんでしょうか？ また他に何かアイデアがありましたら是非お聞かせ下さい。皆様のご協力を切にお願い致します。

小亀輝雄（会長）

○次号の原稿締め切りは10月22日（金）です。よろしくお願いいたします。

（中村）

fax: 042-391-0581 email: mym-naka@u01.gate01.com

俳壇

山車を曳く子らに優しき婦警かな 風間 和夫
流れ来る演歌を耳に初秋刀魚 幸田 瑞雄
百日紅異常残暑に疲れ果て 菊田 一平
秋霖や読書もつらき目の疲れ
にぎやかに秋の彼岸のポンプ井戸 葛咲いて絵図に鉄砲練習所
鯊釣らる夕陽に頬をふくらませ 小永井 哲哉
星月夜土産に選ぶ軽きもの 高部 糸行
生垣の影長くなり秋の道 戸田 梟
通院路付き添うごとくおにやんま
工事場の人影消えて盆休み 内藤 慎
夜も更けて中天高く月浮かぶ 丸本 北窓
新涼を待ち兼ねたぞよ日本中
パソコンとともに待ちけり秋彼岸 八木 竜湖
秋風や瘦軀起こした友の笑み
ひたすらにこほろぎばかり揃う子かな 栗島 三郎
犬に歩を合わされ仰ぐ星月夜
滝音の見えし樹間や秋の色 井垣 稲雀
ひぐらしや旅情ふかまる日記帳
涼風や揺り椅子の招ぶ子の旨寝 出田 麦穂
雑草の生き生きとして猛暑かな
音ばかり闇に残して遠花火
初秋の雲のゆくへを飽かず見る